

2年学年だより

2年学年だより No. 4

令和6年7月19日(金)

金沢市立港中学校2年

時間を大切に！充実した夏休みにしよう！

1学期が終了します！ 次回は8/21(水)に元気な顔を見せてください。

明日から40日間の夏休みが始まります。来週の保護者懇談会で担任の先生からお家の人に通知表が渡されます。これをよく見て、2学期に向けてお家の人としっかりと学習・生活の話をしましょう。勉強も大事ですが、規則正しい生活を継続することも同じく大切です。朝起きる時間、勉強する時間、寝る時間の3点固定を意識し、夏休みに入っても朝7時ぐらいには起きて、部活動に休まず参加し、毎日4時間以上勉強することを心がけましょう。

夏休み中の部活動ですが、3年生が引退し、新体制になる部活動も多いことでしょう。しっかりと自分の役割を自覚し、仲間と協力して自分たちのチームを築いていってください。

また、8/29(木)・30(金)には5教科の実力テストがあります。じっくりと粘り強く復習して、手ごたえを得て欲しいと思います。そして、事故やケガには十分注意して、全員が笑顔で2学期初日を迎えられることを願っています。

〈夏休みの課題〉 提出日がそれぞれ異なります！ 〆切を守りましょう。

- ・サマーワーク 国・理・英(8/29(木)提出) 社・数(8/30(金)提出)
- ・読書感想文(8/21(水)登校日に提出)
- ・自学ノート1冊60ページ(5教科×10p=50p、フリー×10p=10p)(8/29(木)提出)
- ・「夏休みのしおり」(8/29(木)提出)
- ・各種応募作品(8/29(木)提出)←こちらは希望者のみ

〈夏休み中の登校日について〉

欠席の場合は必ず保護者の方が連絡をしてください。

【8月21日(水)全校登校日】

登校～8:10

朝礼 8:15～8:20

学活 8:30～9:20

〈持ち物〉 黒カバンで登校します

- ・読書感想文
- ・サマーワーク5冊<進捗状況を確認します>
- ・自学ノート<進捗状況を確認します>
- ・夏休みのしおり<確認します>
- ・デイリーライフ
- ・筆記用具
- ・水筒
- ・端末(クロームブック)を入れる袋
- ・内履きズック(持ち帰った人のみ)
- ・部活の用意(部活動のある人のみ)



〈2学期初めの日課〉

【8月29日(木)】

登校 ～8:10

朝礼 8:30～8:35

1限 8:50～9:40 始業式

2限 9:55～10:45 理科テスト

3限 11:00～11:50 英語テスト

給食 11:50～12:20

4限 12:45～13:35 国語テスト

5限 13:45～14:35 学活

清掃 14:35～14:50

終礼 14:55～15:05

〈持ち物〉

- 提出物
- ・自学ノート1冊60ページ
 - ・サマーワーク国・理・英
 - ・夏休みのしおり
 - ・応募作品(応募する人のみ)
- ・筆記用具
 - ・デイリーライフ
 - ・内履きズック
 - ・水筒
 - ・端末(クロームブック)
 - ・雑巾1枚
 - ・封筒(中身を空にして)

校外生活で何か問題が起こったときや事故があったら、港中学校 TEL 238-5663 に連絡してください。尚、8/11(日)～8/17(土)は学校閉庁日のため、金沢市教育委員会学校指導課 TEL 220-2449 に連絡してください。

素囃子鑑賞会を終えて



7月2日（火）に石川県立音楽堂の邦楽ホールにて、「金沢素囃子鑑賞会」がありました。当日は、「金沢素囃子保存会」による三曲の演奏を、解説やインタビューを交えながら聴きました。演奏が始まると、迫力のある地声での唄、心地良い太鼓のリズム、かっこいい龍笛の音色などに終始魅了されました。曲と曲の合間には、会場にいる生徒を代表して野村伯人さんが堂々とインタビューを行い、リズムの取り方や一人前に演奏できるようになるにはどれくらいの月日を要するかなどを教わりました。また、会場の生徒全員で小鼓を打つ真似をする「エアー鼓」に挑戦しました。肩に小鼓を乗せて「いよ～」という掛け声の後に、「ポン！」と叩く真似をすると、会場全体に一体感が生まれましました。普段、あまり聴くことがない音楽に触れ、とても貴重な体験ができた鑑賞会でした。ちなみに来年度は、石川県立能楽堂で能と狂言を鑑賞する予定です。能楽でも今回同様に和楽器の音色に触れる機会がありますので、来年も楽しみにしててください。

～生徒の感想より～

繊細できれいな素囃子

1組 紺島 祐冴さん

今回初めて素囃子というのを見て聴いて、全くどんなものか知らなかったけど、演奏が始まると、掛け声と共に迫力のある音と細かくきれいな動きがすごかったです。とても日本らしい音で、テレビなどで見たことがある楽器があり、音がとてもそろっていて、きれいでいいなと思いました。それぞれの楽器の解説を聞くと、とても細かく管理されていて、大鼓も小鼓も湿気に気を遣っていることが分かりました。三味線は座っている位置や順番にも工夫がされていて、とても繊細できれいでした。すごかったです。

素囃子から感じた伝統のつながり

2組 野村 伯人さん

自分はただ聴くだけでなく、インタビュアーとして参加しました。緊張で心臓をバクバクさせながら舞台袖に向かって、演奏を聴いていました。しかし、聴いていると思わず演奏に耳をすまし、インタビューをする緊張よりも、目の前の演奏に引き込まれていました。今から何千年も前につくられたものが、今でも人の心を動かしているんだと思ったら、「伝統のつながり」というものを感じます。和楽器なども今まで関わりがあまりなかったので、これからも触れていきたいと思いました。

素囃子の良さがもっと伝わってほしい

3組 蔵谷 遥さん

素囃子自体は知っていましたが、生で見るとは初めてで、映像とは違う迫力がありました。きれいな発声の唄と息の合った演奏で、聴いていて心地良かったです。演奏をしている方々の「素囃子」という素敵な伝統がこれからもずっと続いてほしいという思いがとても伝わってきました。一曲一曲にストーリーがあって、歌詞をよく聴くと、意味が分かっておもしろかったです。素囃子の良さが今の人にも、もっと伝わってほしいと思いました。

安心で落ち着く素囃子

4組 岩上 鈴奈さん

生まれて初めて素囃子を見て、一体感がすごいと思いました。歌う人、三味線を弾く人、太鼓をたたく人、笛を吹く人、全員とてもすごかったです。全ての楽器に迫力があって、ものすごく会場に響き渡っていて、全ての曲に引き寄せられました。あまり素囃子に興味がありませんでしたが、今回の鑑賞会で少し好きになりました。全ての楽器が合わさった曲を聴くと、とても安心できました。特に最後の「操三番叟」が一番落ち着きました。みんなの掛け声がとてもかっこ良かったです。また機会があったら聴きたいです。